

第601回: 憫農詩の含意

「おどろく」という動作を中国語で「喫一驚」と表現する。そう聞いて「な～んだ日本語と一緒にじゃないか」とのたまう諸賢は古い方かも。漱石が「満韓とところどころ」の中で「この犬はその後大連に渡って大和ホテルに投宿した。そうとはちっとも知らず食堂に入って飯を食っていると、突然この顔に出食わして一驚を喫した」と記したように、昔は文語で「一驚を喫する」、口語で「おったまげる」など使い分けていたようだ。

閑話休題、以下は8月11日の中国国営新華社電だが、その内容に一驚を喫してしまったのです。

中共中央総書記、国家主席、中央軍委主席習近平近日対制止餐飲浪費行為作出**重要指示**。他指出、餐飲浪費現象、觸目驚心、令人痛心！“誰知盤中餐、粒粒皆辛苦”尽管我国粮食生產連年豐收，对粮食安全還是始終要有危機意識、今年全球新冠肺炎疫情影响所帶來的影響更是給我們敲響了警鐘。

習近平中国共産党中央委員会総書記(国家主席、中央軍事委員会主席)は最近、飲食の浪費行為を停止するよう重要指示を出した。習主席は、飲食浪費現象は衝撃的で心が痛むと指摘し、「誰か知らん、盤中の餐、粒粒みな辛苦」と述べた。我が国の穀物生産は豊作続きではあるが、食糧安全保障を危機的に認識する必要がある。今年流行のグローバルな新型肺炎は我々に警鐘を鳴らしている。

一驚を喫した理由は、これが「重要指示」だったから。共産中国で「重要指示」とは最高指導部が発出する極めて重要な命令で「四川省汶川県で発生したマグニチュード8の大地震に接した胡錦濤国家主席は直ちに重要指示を発出し、温家宝首相は専用機で被災地に飛び立った」というような状況で用いられる。

今回習主席の「重要指示」は「浪費は恥だ、ゆめゆめ食べ物を粗末にはいけない」と云うもので、随分軽い内容の「重要指示」だと思いつつ一読した中国人が大半だったと思うが、「誰知盤中餐、粒粒皆辛苦」のくんだり、ある程度古典教養のある人は、その深刻さに気付きハッとしたはずだ。

中唐代無錫の詩人で政治家でもあった李紳は農民が苦しい農耕の日々を送っても、なお餓死する者が後を絶たないことを嘆き、「憫農詩(=農を憐れむの詩)」で農民の刻苦勉勵を称えている。

春種一粒粟 秋成萬顆子	春に種く一粒の粟 秋に成る萬顆の子(み)
四海無閑田 農夫猶餓死	四海閑田無けれど 農夫猶ほ餓死するがごとし
鋤禾日當午 汗滴禾下土	禾(か)を鋤きて日午に当たり 汗は禾下の土に滴る
誰知盤中餐 粒粒皆辛苦	誰か知らん盤中の餐 粒粒みな辛苦

(大意)春に一粒粟の種を播けば、秋には万もの実がなる。

でも国内に休耕田はなく農民は懸命に働いているのに、なお餓死しようとしている。
田畑を耕していると、日は南の空高くに上がり、汗は稲の根元に滴り落ちる。
誰が知ろう、食器の中の飯の一粒一粒が、農夫の苦勞の結晶である事を。

それから1200年後の中国。憫農詩の時代もいまはむかし。鄧小平が決断した改革開放政策のお陰で、

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

現代中国はいつの間にか暖衣飽食の時代に突入した。

中国が豊かになると、貧しかったむかしの日本の後を辿るように人々の好みも変わってくるのが面白い。特に中国人は日本の TV 番組が大のお気に入りのようで、就中グルメ番組がいまだ大流行。最近では「喫播(=大食い番組)」の視聴率が高く、動画サイトでは数多くの大食いインフルエンサーたちが「美女大胃王」と云った称号を競って爆食バトルを展開している。

そんな中、非公式の秘密会議「北戴河会議」で北京を留守にしている習主席からプロパガンダを統括する「宣伝部門」に叱咤譴責のメッセージが届き、「飲食の浪費行為を断固阻止せよ」なんて言い出したものだから、国営放送 CCTV のプロデューサーたちは飛び上がり、手のひらを返したように浪費批判派に寝返り、「完食するため、飲みこんだ食べ物を吐き出すなんてとんでもない行為だ」などと断じている。「周公吐哺、天下帰心」は周公旦には通じたが、習近平には通じないようだ。

飲食浪費はよくない現象だが、中華的遊宴の伝統は数千年も続いており、一朝一夕には解決できない。

筆者にも辛い経験がある。1980 年代に初代北京駐在員を務めたとき中国銀行、CITIC、計画委員会など中国の単位(取引先)から中華ディナーの請貼(招待状)が頻りに届き、宴会場では料理が登場するたびにホストが主賓(われわれ日本側)に自ら料理を取り分けて振る舞ってくれる。「自己来(自分で取ります)」と遠慮してもお構いなしに料理攻勢は続き、いつの間にか面前には食い残した料理が山のように積み上がり、情けないやら申し訳ないやら、嗚呼辛かった！中国では「御客」をする際、ゲストが(食い切れず)半分くらい料理を残すのが最良のもてなしとされており、農村部ではいまでもその習慣が続いていると聞く。

そんな悪習を習主席が改善しようとする意図は理解するが、新型コロナウイルス等で経済が落ち込んでいるときの特効薬は消費拡大しかない。いまこそ無駄覚悟の大浪費が必要だと思うのだが、習主席は何か人に云えない爆弾でも抱えているのだろうか。

中国の食糧は豊作のようだが、6 月には長江流域を中心に広い範囲で豪雨災害が発生し「三峡ダム決壊か」とデマが流れるほど影響が懸念されたが、今回の指示と何か関係があるのだろうか。それとも米中関係の悪化がカナダやオーストラリアを巻き込んだ食糧問題のトリガーを引くのか？香港や欧米メディアの中には米中対立が中国の食糧安保に波及する可能性を指摘する声が強い。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2020 年(令和2年)8 月 18 日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して 最大 0.8800% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.75% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。